

県建築協会奄美支部設立30周年記念式典

業界発展を盛大に祝う

歴代支部長に感謝状贈呈も

県建築協会奄美支部(伊藤俊一支部長)は23日、名瀬市の奄美観光ホテルでの設立30周年記念式典を開き、多くの来賓者が出席し同支部の記念の日を祝った。



奄美支部の節目を祝った式典
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

県建築協会奄美支部総会

伊藤支部長再選

記念式典に先立ち開いた同支部の第30回通常総会では、15年度事業報告や新年度事業計画、予算案等について話し合った。役員改選では伊藤氏が支部長に再選された。

伊藤支部長は挨拶で「15年度の行事も皆々まの協力で無事終了できた。年々、活動内容が増えてきているが、これも協会の存在が世間に伝わっている証しだ」と語った。

伊藤支部長は挨拶で「15年度の行事も皆々まの協力で無事終了できた。年々、活動内容が増えてきているが、これも協会の存在が世間に伝わっている証しだ」と語った。

要があるのではないかと。外へ向けては奉仕の精神を、内には技術向上への自己研さんと相互扶助が協会の基本目的だということをお忘れはならないと思う。厳しい今日の状況だが、今後とも関係各位のさらなるご指導ご鞭撻を賜りたい」と挨拶を行い、先人への感謝と今

後の抱負を述べた。

また、初代の伊藤廣氏、2代目山田三三氏、3代目川崎文氏の歴代支部長3氏に感謝状の贈呈があり、代表で山田氏が謝辞を述べた。祝賀会では会員らが支部のこれまでの歩みを語り合いながら和やかに杯を交わした。

同支部は昭和49年に9

国交省鹿児島国道事務所長に就任した 遠藤 和重さん



鹿児島島の印象について「沖縄に赴任していた時の感覚と似ていますね、沖縄サミット開催に合わせて空港から会場までの道路整備に奔走していた頃を思い出す」と語り、鹿

て「必要なことでありやらなければならぬ事業で軸となる道路整備」と位置付ける。また、今後はハード面だ



昭和63年に京都大学大学院工学研究科交通土木工学を専攻修了し平成2年に建設省に入省。国際協力事業団、土木研究所、沖縄総合事務局、本省道路局地方道・環境課地域道路調整室課長補佐などを経て現在に至る。

中一高とサッカー部で活躍。ジョギングやゴルフなどスポーツで体を動かし汗をかくことが好きと

ソフト事業にも力を

千葉県船橋市に夫と子供2人を残しての単身赴任。赴任が決まってからテレビ電話を購入、毎晩子供たちとの会話を楽しみにしている。笑顔を見せる。「ヒラメキ・直感が大切」

「全てにおいてパランスが大事」がモットー。大阪府生まれの39歳。

(水迫伸哉・報道部)

大島電気工事事業協組総会

高田理事長(高田幸三理事長)は報告、16年度事業計画・予算案などすべて原案通り可決した。役員改選で



今年度事業計画など原案通り可決した総会
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

事務所協会鹿屋・肝属支部総会

会員の優先活用要望



講習会の積極参加などを決めた総会
＝鹿屋市の大黒グランドホテルで

鹿屋市の大黒グランドホテルで16年度通常総会を開き、業務発展に関する協会のPRと会員の優先的活用を要望、資質向上に関する技術力向上や講習会などの積極的参加を柱とする事業計画を執行部原案通り承認した。県本部の役員改選前に役員改選も行われた結果、全員を再選した。

高田理事長(高田幸三理事長)は報告、16年度事業計画・予算案などすべて原案通り可決した。役員改選で

振動・無騒音
鋼矢板圧入引抜き工事
コンクリート矢板・広幅鋼
矢板圧入工事

油圧式超高周波
鋼矢板打抜き工事
(在庫多数)

土木工事一式
各種土留工事
クレーン作業全般

稲森クレーン建設(株)

〒891-0104 鹿児島市山田町416-4
TEL(099)265-6651 FAX(099)265-6780

曳家(ひきや)工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事

株式会社 大城

県知事許可(特-12)第4087号
本社 鹿児島市宇宿町1955-1
下荒田事務所 鹿児島市下荒田1-18-2

TEL(099)275-3600 代
TEL(099)254-3938 番